

4/22 (Sat)

10:00 - 12:20

スポンサードシンポジウム1

(共催: ブリストルマイヤーズスクイブ株式会社/ファイザー株式会社)
震災時の災害関連疾患とその対策
 -今後の備えになにが必要か-

企画責任者 掃本誠治

座長: 安田 聡先生(国循)/掃本 誠治先生

1. てんかん/脳卒中: 稲富 雄一郎先生 (20)
2. 急性心筋梗塞: 小島 淳先生 (20)
3. 脳神経外科疾患: 西 徹先生 (20)
4. 基調講演:
 東日本大震災の経験から:
 高橋 潤先生 (東北大学 循環器内科)(40)
5. 肺塞栓: 末田 大輔先生 (20)
6. 神経筋疾患: 中島 誠先生 (20)

シンポジウム1 (KEEP project主催)

急性期の医療救護と保健衛生活動

-活動報告と今後の展望- 企画責任者 細川浩

座長: 前原 潤一先生/細川 浩先生

行政 医療政策課 松岡 正之様

災害コーディネーター 前原 潤一先生

医療支援 DMAT 近藤 祐史先生

日赤 奥本 克己先生

保健衛生 保健所 木脇 弘二先生

DVT対策 細川 浩先生

ICT 東 陽子氏

WOC 伊藤 奈央氏

WATSAN 黒田 彰紀氏

看護師 熊本県看護協会 井手 州子氏

12:30 - 13:30

ランチョンセミナー-1

(共催: 武田薬品工業株式会社)

座長: 安田 聡先生 (国立循環器病研究センター)

10分 一般講演: 稲富 雄一郎先生(打診中)

50分 特別講演

災害と高血圧(仮題)

(自治医科大学 循環器内科)

ランチョンセミナー-2

(共催: MSD株式会社)

座長: 辻田 賢一先生

(熊本大学生命科学研究部 循環器内科)

20分 一般講演: 本島 寛之先生

40分 特別講演

過去の震災の教訓から今後の展望

福田 幾夫 先生(弘前大学大学院 胸部心臓血管外科)

13:40 - 15:10

スポンサードシンポジウム2

(共催: サノフィ株式会社)

各種団体の視点から振り返る熊本地震

座長: 朔 啓二郎先生/小島淳先生

話題提供: 小島 淳先生 (心血管イベント予防)

- 熊本地震の特徴について 松田 泰治先生
- 日本静脈学会の対応 福田 幾夫先生
- 日本循環器学会の対応 朔 啓二郎先生
- 日本臨床衛生検査技師会の対応 依頼中
- 日本超音波学会 依頼中
- 被災地医師会長として 永田 壮一先生

シンポジウム2/ワークショップ(KEEP project主催)

医療調整本部の問題点

企画責任者 長井洋平 一熊本市の活動から再考する

座長: 橋本洋一郎先生/長井洋平先生

- 市本部の問題点 赤坂威史先生
 (熊本市救護班調整本部)
- DVT班の問題点 長井洋平先生 (熊本市DVT班)
- DVT検診の現場から 増永純夫氏
 (熊本県臨床検査技師会)
- 情報共有の在り方について 田中すみ子氏
 (熊本市保健師)
- 市の取り組み 浦中信弘氏(熊本市保健所医療政策課)
- 宮崎県の防災への取り組み 名越秀樹先生
 (都城医師会病院)
- 当時の問題点と現在の国の動き 清住 雄希先生
 (厚生労働省医系技官)

15:20 - 16:50

特別企画 (主催: KEEP project)

熊本地震における行政の対応

座長: 安田 聡先生/ 掃本誠治先生

- 熊本県の取り組み
 熊本県健康づくり推進課 市原 幸様(20)
- 阿蘇保健所の取り組み
 阿蘇保健所 服部希世子先生(20)
- 厚労省の取り組み
 厚生労働省健康局健康課 有賀 玲子先生(50)

17:00 - 19:30

イブニングセミナー (共催: ベーリンガーインゲルハイム)

熊本地震における医療の反省と今後の課題 -基幹病院での記録を振り返る- 企画責任者 掃本誠治

座長 辻田 賢一先生/ 掃本 誠治先生/ 野田 勝生先生

話題提供: 熊本市市民病院 橋本 洋一郎 先生(10)

1. 熊本県医師会 防災・救急災害担当理事: 西 芳徳 先生(20)
2. 阿蘇医療センター: 甲斐 豊 先生(20)
3. 熊本赤十字病院: 中島伸一 先生(20)
4. 済生会熊本病院: 中尾 浩一 先生(20)
5. 熊本中央病院: 大嶋 秀一 先生(20)
6. 熊本医療センター: 高橋 毅 先生(20)
7. 熊本市市民病院: 高田 明 先生(20)

会場: 10F パレアホール

意見交換会 (19:45- 21:45)

KKRホテル熊本 「まつり」(予定)

4/23 (Sun)

AMED班会議 (7:30-9:30) 場所: 銀染コア

9:30 - 11:50

スポンサードシンポジウム3

(共催: 第一三共株式会社)

熊本地震でのVTE対策を考える

-将来のコンセンサス作りに向けて-

企画責任者 坂本憲治

座長: 坂本 憲治/ 橋本 洋一郎先生

1. 熊本地震DVT検診の初動 坂本憲治(10)
2. 過去の災害におけるDVTの推移と対策
 植田信策先生(20)
3. 熊本地震でのDVT検診結果 木下ゆい氏(15)
4. 過去の教訓は生かされたか 榛沢和彦先生
 (20)
5. 日本と世界のエビデンスから 孟 真先生(20)
6. 理想的なDVT対策について 山村 修先生(20)
7. 地域医療機関の活動 吉田 光宏先生(15)
8. KEEPから将来への提言 掃本 誠治先生(10)

シンポジウム3 (主催: KEEP project)

被災後の慢性疾患患者に起きた問題点とその対策

企画責任者 中島 誠

座長: 山下 太郎先生/中島 誠先生

1. 神経難病患者の被災 高松 孝太郎先生
2. 糖尿病患者へのサポート 本島 寛之先生
3. 慢性維持透析患者の被災
 久木山 厚子先生
4. 震源地開業医の被災 永田 晃平先生
5. 精神科患者の被災 矢田部 裕介先生
 (熊本県精神保健福祉センター)
6. 看護の視点でみた震災後の慢性疾患
 水本 千代子氏 (熊本県看護協会)
7. 在宅医療からみた被災状況 田島 和周先生
8. ボランティアの活動 山本 智恵子氏
 (キャンパス熊本)

12:00 - 13:00

ランチョンセミナー-3

(共催: バイエル薬品)

座長: 安東 由喜雄先生

(熊本大学生命科学研究部神経内科)

大規模災害時における抗凝固療法

橋本 洋一郎 先生 (熊本市市民病院 首席診療部長)

ランチョンセミナー-4

(共催: エーザイ株式会社)

座長: 長沢 光章先生

(日本臨床検査技師会 代表理事 副会長)

15分 一般講演 末田大輔先生(調整中)

45分 特別講演

より有効なDVT検診の方法について

山村 修 先生 (福井大学地域医療推進講座 講師)

14:00 - 16:30

肥後医育塾 熊本地震 公開講座 (主催: 肥後医育振興会、熊本日日新聞、化血研、KEEP project)

総合司会: 肥後医育振興会理事 座長: 掃本 誠治先生/小島 淳先生

- 開講のあいさつ(10)
 肥後医育振興会理事長
 熊本県知事
 熊本市長 (打診中)
 小川 久雄先生 (国立循環器病研究センター理事長)
- 1. 井 清司先生 (熊本県赤十字血液センター 所長) (20)
- 2. 坂本 憲治先生 (熊本地震シンポジウム2017 実行委員長) (20)
- 3. 榛沢 和彦先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管外科呼吸器外科 講師) (20)
- 4. 演者打診中 (20)
- 5. 英太郎氏 (タレント 体験談) (20)
- 6. 熊本日日新聞 (演者依頼中) (20)
- 7. 橋本 洋一郎先生 (熊本市市民病院 首席診療部長、神経内科部長) (20)

会場: 10F パレアホール

市民対象のDVTエコー検診

市民対象のDVTエコー検診